

機能要件					
No	大分類	件名	内容	対応可否	対応内容
1	データ抽出/編集/格納	kintoneが提供するREST APIとの連携	kintoneが提供するREST APIをもちいてkintone内のテーブルからデータを抽出できること。 kintoneが提供するREST APIの仕様は以下ドキュメントを参照のこと。 https://cybozu.dev/ja/kintone/docs/rest-api/		
2		更新データの反映	kintoneでの審査が完了し、交付決定したデータを分析基盤データベースに反映する想定である。 前回連携した時点以降に発生した更新データを抜けもれなく分析基盤データベースに反映すること。		
3		連携エラー時の再実行性の考慮	連携処理でエラーが発生した際に、簡易な手順でリカバリできるよう設計を考慮すること。 またリカバリ時の再実行で重複エラー等が発生しないよう考慮すること。		
4		氏名カナの匿名化	複数の事業に跨って助成金を申請しているものを集計するのに、住所の一部（市区町村等）＋氏名カナを匿名化した文字列を使用する想定である。kintoneに格納された氏名カナを匿名化したうえで分析基盤データベースに連携すること。 ※ 分析基盤データベースに個人の氏名カナをそのまま保持するのを避けるため匿名化処理を施す。		
5		APIアクセスキーの管理	kintoneが用意するREST APIを呼び出す際のアクセスキーをセキュアに保管すること。		
6	データ加工	あるテーブルから別テーブルへのデータ登録処理	本検証においては、あるテーブルから項目を取捨選択して別テーブルに登録する程度の簡易な加工処理を想定。SQLによる加工処理が実現できること。		
7	データストレージ（データベース）	連携データの保持	kintoneから連携されたデータを分析基盤データベースに保持できること。		
8		テーブルへのアクセス権限制御	将来、分析基盤データベースをBIツールに公開する際、部署等でテーブルへのアクセス権限管理を実施する想定である。分析基盤データベース側でテーブルへのアクセス権限管理を制御できること。		
9		カラムへのアクセス権限制御	将来の要件として、カラムレベルのアクセス権限制御機能を有していること。		
10	処理の自動実行	日次での自動実行	日次で連携処理およびデータ加工処理を所定の時刻に自動実行できること。		
11		エラー発生時の通知	自動実行のなかでエラーが生じた際はメール等で管理者に連絡できること。		
12		処理の並列実行	連携処理およびデータ加工処理について、テーブルごとに並列で処理を実行できること。		
13	ユーザー管理	ユーザー管理	システム内のユーザーアカウントを作成・管理し、アクセス権限を適切に設定できること。		

凡例

○：対応可

△：一部制約有

×：対応不可

非機能要件

No	大項目	中項目	小項目	非機能要件	対応可否	対応内容
				今回の検証スコープ		
1	可用性	継続性	運用スケジュール	・検証期間中においては特段運用スケジュールを定めず、システム停止を許容する	－	
2	可用性	継続性	業務継続性	・障害時の停止を許容する	－	
3	可用性	継続性	目標復旧水準（業務停止時）	・検証期間中においては目標復旧水準を定義しない		
4	可用性	継続性	目標復旧水準（大規模災害時）	・検証期間中においては目標復旧水準を定義しない		
5	可用性	稼働性	稼働率	・使用するクラウドサービスの稼働率に準じる	－	
6	可用性	耐障害性	耐障害性	・使用するクラウドサービスの耐障害性に準じる	－	
7	可用性	災害対策	災害対策	・災害対策サイトは用意しない	－	
8	可用性	回復性	復旧作業	（特段定義することが無いため行削除）		
9	可用性		可用性確認	（特段定義することが無いため行削除）		
10	性能・拡張性	業務処理量	通常時の業務量	・通常業務で使用しないため定義しない		
11	性能・拡張性	業務処理量	業務量増大度	・通常業務で使用しないため定義しない		
12	性能・拡張性	データ保存量	保管期間	・検証期間においては保管期間を定めない（永年保管）	－	
13	性能・拡張性	性能目標値	オンラインレスポンス	・検証期間においては目標値を定めない		
14	性能・拡張性	性能目標値	バッチレスポンス（ターンアラウンドタイム）	・検証期間においては目標値を定めない		
15	性能・拡張性	性能目標値	オンラインスループット	・検証期間においては目標値を定めない		
16	性能・拡張性	性能目標値	バッチスループット	・検証期間においては目標値を定めない		
17	性能・拡張性	リソース拡張性	CPU拡張性/メモリ拡張性	・検証期間においては目標値を定めない		
18	性能・拡張性	リソース拡張性	ディスク拡張性	・検証期間においては目標値を定めない		
19	性能・拡張性	性能品質保証	帯域保証機能の有無	・不要		
20	性能・拡張性	性能品質保証	HWリソース専有の有無	・不要		
21	性能・拡張性	性能品質保証	性能テスト	・不要		
22	性能・拡張性	性能品質保証	スパイク負荷対応	・不要		
23	運用・保守性	通常運用	運用時間	・検証期間中においては特段運用スケジュールを定めず、システム停止を許容する	－	
24	運用・保守性	通常運用	バックアップ	・必要時は手動でバックアップを取得する		
25	運用・保守性	通常運用	運用監視	・検証期間中においては監視設定は不要 ・障害発生時は委託者からの連絡を元に状況確認、復旧を行うこと		
26	運用・保守性	通常運用	時刻同期	・使用するクラウドサービスに準じる	－	
27	運用・保守性	保守運用	計画停止	・計画停止を許容する	－	
28	運用・保守性	保守運用	運用負荷削減	・検討不要		
29	運用・保守性	保守運用	パッチ適用ポリシー	・必要性が生じた場合は委託者と協議すること		
30	運用・保守性	保守運用	活性保守	（特段定義することが無いため行削除）		
31	運用・保守性	保守運用	定期保守頻度	（特段定義することが無いため行削除）		
32	運用・保守性	保守運用	予防保守レベル	（特段定義することが無いため行削除）		
33	運用・保守性	障害時運用	復旧作業	・手作業での復旧を前提とする		
34	運用・保守性	障害時運用	障害復旧自動化の範囲	・復旧作業は全て手作業で実施する		
35	運用・保守性	障害時運用	システム異常検知時の対応	・ベストエフォートでの対応とする		
36	運用・保守性	障害時運用	交換用部材の確保	（特段定義することが無いため行削除）		
37	運用・保守性	運用環境	開発用環境の設置	・検証期間中においては本番環境以外の定義は不要		
38	運用・保守性	運用環境	試験用環境の設置	・検証期間中においては本番環境以外の定義は不要		
39	運用・保守性	運用環境	マニュアル準備レベル	・納品物の定義を参照		
40	運用・保守性	運用環境	リモートオペレーション	・委託者拠点に加えて、受託者のオフィス/リモート環境からのオペレーションを許可する		
41	運用・保守性	運用環境	外部システム接続	・委託者が保持するkintone環境との連携を想定		
42	運用・保守性	サポート体制	保守契約	・使用するクラウドサービスに準じる	－	
43	運用・保守性	サポート体制	ライフサイクル期間	（特段定義することが無いため行削除）		
44	運用・保守性	サポート体制	メンテナンス作業役割分担	（特段定義することが無いため行削除）		
45	運用・保守性	サポート体制	一次対応役割分担	（特段定義することが無いため行削除）		
46	運用・保守性	サポート体制	サポート要員	・検証実施メンバで対応		
47	運用・保守性	サポート体制	導入サポート	・ベストエフォートでの対応とする		

48	運用・保守性	サポート体制	オペレーション訓練	・ベストエフォートでの対応とする		
49	運用・保守性	サポート体制	定期報告会			
50	運用・保守性	その他の運用管理方針	内部統制対応	・不要（本番データを扱わない）		
51	運用・保守性	その他の運用管理方針	サービスデスク	・不要		
52	運用・保守性	その他の運用管理方針	インシデント管理	・不要		
53	運用・保守性	その他の運用管理方針	問題管理	・不要		
54	運用・保守性	その他の運用管理方針	構成管理	・不要		
55	運用・保守性	その他の運用管理方針	変更管理	・不要		
56	運用・保守性	その他の運用管理方針	リリース管理	・不要		
57	移行性	移行時期	移行のスケジュール	・検討不要		
58	移行性	移行方式	システム展開方式	・検討不要		
59	移行性	移行対象	移行データ量	・検討不要		
60	移行性	移行計画	移行作業分担	・検討不要		
61	セキュリティ	前提条件・制約条件	情報セキュリティに関するコンプライアンス	・別紙 3「電子情報処理委託に係る標準特記仕様書」を参照すること		
62	セキュリティ	セキュリティリスク分析	セキュリティリスク分析	・不要（本番データを扱わない）		
63	セキュリティ	セキュリティ診断	セキュリティ診断	・不要（本番データを扱わない）		
64	セキュリティ	セキュリティリスク管理	セキュリティリスクの見直し	・不要（本番データを扱わない）		
65	セキュリティ	セキュリティリスク管理	セキュリティリスク対策の見直し	・不要（本番データを扱わない）		
66	セキュリティ	セキュリティリスク管理	セキュリティパッチ適用	・不要（本番データを扱わない）		
67	セキュリティ	アクセス・利用制限	認証機能	・クラウドサービスの認証機能を利用する ・ユーザごとに多要素認証（MFA）を設定可能とすること ・認証基盤との連携は不要		
68	セキュリティ	アクセス・利用制限	利用制限	・ソースIPアドレスによるアクセス元制限を実施し、外部からのアクセスを許可しない		
69	セキュリティ	アクセス・利用制限	管理方法	・アクセス可能なユーザーの一覧をExcelで管理する		
70	セキュリティ	データの秘匿	データ暗号化	・使用するクラウドサービスに準じる	－	
71	セキュリティ	不正追跡・監視	不正監視	・必要に応じて各種ログを取得する - ログイン/ログアウト履歴（成功/失敗） - 操作ログ - 通信ログ - DBログ - アプリケーションログ 等 ・ログの監視は不要		
72	セキュリティ	不正追跡・監視	データ検証	・不要（本番データを扱わない）		
73	セキュリティ	ネットワーク対策	ネットワーク制御	・ソースIPアドレスによるアクセス元制限を実施し、外部からのアクセスを許可しない		
74	セキュリティ	ネットワーク対策	不正検知	・不要		
75	セキュリティ	ネットワーク対策	サービス停止攻撃の回避	・不要（外部からのアクセスを許可しない）		
76	セキュリティ	マルウェア対策	マルウェア対策	・仮想PCなどOSを利用者側で管理する場合はマルウェア対策を実施する		
77	セキュリティ	Web対策	Web実装対策	・不要（Web実装を独自に実施しない）		
78	セキュリティ	セキュリティインシデント対応/復旧	セキュリティインシデント対応/復旧	・別紙 3「電子情報処理委託に係る標準特記仕様書」を参照すること		
79	システム環境・エコロジー	システム制約/前提条件	構築時の制約条件	（特段定義することが無いため行削除）		
80	システム環境・エコロジー	システム制約/前提条件	運用時の制約条件	（特段定義することが無いため行削除）		
81	システム環境・エコロジー	システム特性	ユーザ数	・検証に関与するメンバに限定（委託者：10名以内）		
82	システム環境・エコロジー	システム特性	クライアント数	（特段定義することが無いため行削除）		
83	システム環境・エコロジー	システム特性	拠点数	（特段定義することが無いため行削除）		
84	システム環境・エコロジー	システム特性	地域的広がり	（特段定義することが無いため行削除）		
85	システム環境・エコロジー	システム特性	特定製品指定	（特段定義することが無いため行削除）		
86	システム環境・エコロジー	システム特性	システム利用範囲	（特段定義することが無いため行削除）		
87	システム環境・エコロジー	システム特性	複数言語対応	・日本語のみ対応		
88	システム環境・エコロジー	適合規格	製品安全規格	（特段定義することが無いため行削除）		
89	システム環境・エコロジー	適合規格	環境保護	（特段定義することが無いため行削除）		

90	システム環境・エコロジー	適合規格	電磁干渉	(特段定義することが無いため行削除)		
91	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	耐震/免震	(特段定義することが無いため行削除)		
92	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	スペース	(特段定義することが無いため行削除)		
93	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	重量	(特段定義することが無いため行削除)		
94	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	電気設備適合性	(特段定義することが無いため行削除)		
95	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	温度（帯域）	(特段定義することが無いため行削除)		
96	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	湿度（帯域）	(特段定義することが無いため行削除)		
97	システム環境・エコロジー	機材設置環境条件	空調性能	(特段定義することが無いため行削除)		
98	システム環境・エコロジー	環境マネージメント	環境負荷を抑える工夫	(特段定義することが無いため行削除)		
99	システム環境・エコロジー	環境マネージメント	エネルギー消費効率	(特段定義することが無いため行削除)		
100	システム環境・エコロジー	環境マネージメント	CO ₂ 排出量	(特段定義することが無いため行削除)		
101	システム環境・エコロジー	環境マネージメント	低騒音	(特段定義することが無いため行削除)		

凡例

○：対応可

△：一部制約有

×：対応不可